



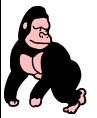


図書新聞 * 第6号 *



平成26年9月発行
島根県立益田高等学校
図書部

朝夕涼しくなりました。校門脇の木はキンモクセイでしょうか、よい香りがして、秋の訪れを感じます。さわやかな気候で、何をすることも良い季節がやってきますね。いろいろな面で皆さんの活躍が見られるのを楽しみにしています。秋は読書をするにも良い季節、時間を見つけて本に親しみ、心の栄養を蓄えてくださいね！

☆新着図書案内☆

<p>「調べるって楽しい！」 大串夏身/著 (007 才)</p>  <p>インターネットを使い倒そう！</p> <p>インターネットでの情報の調べ方、検索のコツなどを、わかりやすくガイド。調べ学習の参考にどうぞ♪</p>	<p>「わたしが正義について語るなら」 やなせたかし/著 (S158 ヤ)</p> <p>正義はかっこよくない</p> <p>みんな知ってる「アンパンマン」にこめられた、やなせ氏の想いとは。アンパンマンのマーチ…深いです。</p>	<p>「熱く生きる」 天野篤/著 (289.1 ア)</p>  <p>世のため人のためを目指せるか</p> <p>著者は、天皇陛下の手術を執刀した心臓外科医。「武士道」があるように、「医師道」もある！</p>
<p>「サルなみに思い出すことなど」 ロバート・M・サポルスキー/著 (519 マ)</p>  <p>大きくなったらマウンテンゴリラになる、と思っていた</p> <p>霊長類研究者である著者による、ヒヒの群れ観察記。ロバートさんのヒゲにも注目してください！</p>	<p>「我が家の問題」 奥田英明/著 (B913.6 才)</p> <p>これからおとうさんを救出してきます</p>  <p>家族って、温かいだけじゃない。大変なこともあるんです。</p>	<p>「太陽の棘」 原田マハ/著 (913.6 ハ)</p> <p>私は、とにかく絵が描きたい。</p>  <p>戦後間もない沖縄の基地で、アメリカの軍医と、日本の若き画家たちが出会った一。</p>

☆そのほかの新入荷本☆

・「紙の本は減びない」福嶋聡/著 (S023 フ)・「考える読書 第59回青少年読書感想文全国コンクール入選作品」全国学校図書館協議会/編 (019 セ)・「9歳で突然父を亡くし新聞配達少年から文科大臣に」下村博文/著 (289.1 シ)・『「自分」の壁』養老孟司/著 (S304 ヨ)・「働く！これで生きる50人」共同通信社/編 (366.2 キ)・『重金属のはなし』渡邊泉/著 (S436 ワ)・『ダイオウイカ、奇跡の遭遇』窪寺恒己/著 (484 ク)・『救命 東日本大震災、医師たちの奮闘』海堂尊/監修 (B498 カ)・「NHKスペースシップアースの未来」松井孝典ほか/著 (519 マ)・「味噌・醤油入門」山本泰/著 (588 ヤ)・「身につく英語のためのAtoZ」行方昭夫/著 (S830 ナ)・「夢十夜を十夜で」高山宏/著 (B913.6 タ)・「死亡フラグが立つ前に」七尾与志/著 (B913.6 ナ)・「命もいらず名もいらず(上)・(下)」山本兼一/著 (B913.6 ヤ) などなど…。

☆文化祭古本市のご報告☆ 古本市の本を購入してくれた皆さん、本を寄贈してくれた皆さん、ありがとうございました！売り上げは以下の通りです。

文庫本(10円)…164冊×10円=1640円
単行本(20円)…46冊×20円=910円
マンガ(50円)…21冊×50円=1050円
寄付金(一般の方より)…540円

合計 4140円



この収入は、先月発生した広島県土砂災害の義援金として、日本赤十字広島県支部へ募金させていただくことにしました。

☆図書部コラム 「自分の視野を広げよう！」☆

今、図書部では読書感想文コンクールに向かって国語科の先生といっしょに準備している最中です。感想文を読ませてもらって、「1冊の本で高校生はいかに多くを吸収するか」をしみじみ感じました。ただ、高校生の感想文として望みたいもありました。感想の視点が自分あるいは家族・友達を中心としたものがほとんどで、社会的な視点があるものは少なかったのです。「自分はこういう努力をしていきたい」「友達や家族にこうしてあげたい」という感想はとても心温まるものです。が、そこからもう少し広い世界へ目を向けてみたらどうでしょう。家族から益田市、島根県、日本、世界へと。家族・学校内からもう一歩進んで社会で何が起きているのか、どんな問題があるのか、それに対して自分はどう思うのか。そのような視点がある感想文を次回、期待しています。



図書新聞には「ニュースダイジェスト」を載せています。社会で何が起きているのかを短くまとめています。興味のあるニュースがあれば、新聞でじっくり読んでください。1分もかかりません。図書館にも新聞がおいてあります。毎年、受験のための面接練習をします。「大学で何を学びたいか」「卒業後、学んだ知識や技能を社会でどのように役立てたいのか」という問いにきちんと答えてくれる人は少ないのです。答えてくれても、学びたいことと、卒業後のヴィジョンの関連が全くない場合もあります。日頃、自分を社会的存在として、広い視野からとらえる習慣がないと、答えにくい問いです。学生時代は、「自分のために勉強する」「教えてもらう」自分でいいと思います。しかし、卒業後は、学び、身につけたことで人に何かしてあげる番です。社会で起きていることを知ることで自分は何を学びたいのかも見えてきます。まだ、視点が外に向いていないと思う人はニュースダイジェストに自分の興味を引くものがないかを探ることから始めてみませんか。

☆図書館 今月の展示☆



・2年世界史選択者「モノの歴史」レポート 優秀作品を展示しています。

生徒の調べた「楽器の歴史」、「自動車の歴史」、「茶の歴史」、「漢字の歴史」等々…

調べるほどに興味広がる「モノ」の歴史。世界史選択の人も、そうでない人も、ぜひ見てね！

・「食」に関する本 食欲の秋にちなんで、おいしい料理の本から、食に関する様々な問題を扱った本まで、色々集めました。眺めるだけでも楽しいですよ！ この中から1冊紹介します。

「地球の食卓 世界24か国の家族のごはん」ピーター・メンツェルほか/著 (383.8 メ)

秘密のケンオンショーを見ると、同じ日本でも、食文化は違うものだと感じます。この本には、世界各地の家族が、丸1週間分の食料とともに写真に収まっています。食べ物には、その地の文化や歴史が反映されているだけでなく、社会的・政治的状況なども表れていることが分かります。あの国の人たちは、どんなものを食べているのだろうか？どんな生活をしているのだろうか？この本を見れば世界が見えてくるかも！？



ニュース・ダイジェスト

(9/22 までのニュースより)

- ① 安倍改造内閣が発足 (9月4日 読売新聞)
- ② 昭和天皇実録 公開 (9月9日 毎日新聞)
- ③ 錦織 全米準優勝 (9月10日 山陰中央新報)
- ④ 朝日新聞 本社長、会見し謝罪 (9月12日 朝日新聞)
- ⑤ スコットランド 英残留 (9月20日 毎日新聞)



① 安倍改造内閣が発足

第二次安倍改造内閣が3日、発足した。安倍晋三首相は内閣の要である菅義偉官房長官や麻生太郎副総理兼財務相ら主要な閣僚を留任させ、政権の継続性や安定性を図った。重要課題に取り組むための新ポストとして、地方創生担当相、女性活躍担当相、安全保障法制担当相を設け、地方創生担当相には石破茂前幹事長が就任した。女性閣僚は歴代内閣最多の5人が起用された。

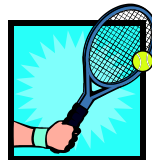


② 昭和天皇実録 公開

宮内庁は昭和天皇の87年の生涯を記録した「昭和天皇実録」を公開した。実録は昭和天皇の日々の動静の公式記録で、昭和天皇の死去の翌年(1990年)から24年余りかけて編纂された。3,152件の史料を使って編纂されたが、これまでの歴史の通説を大きく変えるような記述はなかった。

③ 錦織 全米準優勝

松江市出身のテニス男子の錦織圭(24)が、ニューヨークで行われた全米オープン男子シングルス決勝でマリン・チリッチ(クロアチア)と対戦し、3-6、3-6、3-6のストレートで敗れ準優勝となった。男子の準優勝はアジア初の快挙! 錦織は4回戦以降世界のトップ選手を連続で破る快進撃(準決勝では世界1位のジョコビッチを破った)で、日本男子の可能性を示した。



④ 朝日新聞 本社長、会見し謝罪

朝日新聞社の木村伊量社長は11日、記者会見を開き、東京電力福島第一原発事故の政府事故調査・検証委員会が作成した、吉田昌朗所長(当時)に対する「聴取結果書」(吉田調書)について、5月20日付朝刊で報じた記事を取り消し、謝罪した。また、従軍慰安婦をめぐる報道についても謝罪した。

⑤ スコットランド 英残留



英国からの独立の是非を問うスコットランドの歴史的な住民投票は19日、接戦の末、反対多数で否決された。反対が約55%。投票率は過去最高の84.6%だった。イングランド、ウェールズ、北アイルランド、そしてスコットランドから成る「連合王国」は維持されることとなった。英国分裂の危機は回避されたが、今回の住民投票は先進国における中央と地方の関係のあり方に一石を投じ、分離・独立問題を抱える世界各国から大きな注目を集めた。

☆朝日新聞の報道について☆ 何が問題になっているのでしょうか?

9月11日に朝日新聞が謝罪したのは、2つの問題についてです。1つは、福島第一原発事故の調書(いわゆる吉田調書)をめぐる誤報、もう1つは、戦時中の従軍慰安婦に関する虚偽の証言(偶然ですが、この証言者も吉田という人物)を報じたことについてです。

吉田調書とは・・・ 政府の事故調査・検証委員会が福島第一原発の吉田所長(昨年7月死去)への聞き取り調査をまとめたものです。吉田所長だけでなく、菅直人首相(当時)や枝野幸男官房長官(当時)らにも調査を行っています。朝日新聞はこの調書の情報をもとに、今年5月20日「東電社員の9割が吉田所長の待機命令に違反し、10キロ離れた福島第2原発に撤退した」と報じました。しかしその後の調査で、吉田所長の指示が多く在所員に伝わっていなかったことが判明しました。この件に関し、朝日新聞は「東電社員が命令違反をして現場から逃げ出したという誤った印象を与えた」とし謝罪しました。これらの報道の問題を受けて、政府は非公開としていた調書を初めて公開し、9月12日の新聞各紙はこの吉田調書を掲載しました。原発事故から3年半が過ぎた今も、この調書から原発事故の恐ろしさや現場の人たちの苦悩が伝わってきます。原発の再稼働に向けて動き出そうとしている政府や電力会社は、あの事故の教訓を本当に生かせるのか、と考えさせられます。

従軍慰安婦に関する報道 戦時中の従軍慰安婦について、韓国・済州島で慰安婦を強制連行したとする吉田清治氏(故人)の証言をもとにした記事(1980~90年代初めに掲載)について、8月5日、裏付け取材が十分ではなかったと反省し、虚偽との判断をして取り消しました。これまでの朝日新聞の報道は、軍による組織的強制連行や「奴隷狩り」といったイメージを国際社会に広め、日韓の歴史認識の摩擦を悪化させるものでもあり、誤報を放置してきた朝日新聞の責任は重いです。しかし、「慰安婦狩り」がなかったからといって、慰安婦問題そのものがなかったというわけではありません。慰安婦問題とは、戦時下における女性への人権侵害であり、この問題について考えることは女性の尊厳について考えることであると思います。誤報に基づく国際的な誤解を解く一方で、慰安婦問題を直視し、歴史を検証することも引き続き必要です。

今回の朝日新聞の問題は、メディアの責任について問いかける事件でしたが、同時に、報道を受け取る側の私たちの姿勢も問われています。新聞の一面やネットのニュース一覧をさらっと見て、いろんなことを「知ったつもり」になってはいないでしょうか? メディアの情報を鵜呑みにせず、自分の頭で考えることが必要だと、自戒を込めて思います。

